

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(~~認知症対応型共同生活介護事業所~~ ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム はなかわ 2ユニット	評価実施年月日	平成22年3月1日～3月10日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年3月10日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>地域の中で尊厳を保持しつつ、その人らしい当たり前の暮らしを保障する事業所独自の理念を作り上げている。またその理念を事業所内に掲示している。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>管理者と職員は、ホームの理念を理解し、同意を持って指導をされ、実施に向けている。</p>	○	<p>全職員にホームの理念が浸透し理解するように職員会議で毎回話し合っている。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>地域推進委員会でも、地域の方とお付き合いについて、ホームの考え方などを話し合っている。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>顔見知りではない方にも必ず声をかけ挨拶をしている。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>運営推進会議では、町内会長や役員の方達や消防署に参加して頂き、交流を深めている。また子供みこしとか町内の催し物に協力し参加している。</p>	○	<p>季節の行事で七夕祭りやクリスマス会等に町内会長や役員の方達、町内会の子供達をお誘いして交流を深める事に努めている。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>暮らしに役立つ事について話しあうが取り組むまでには至っていない。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	○	全職員で自己評価と外部評価を実施する事で具体的な改善策を話し合っている。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の意見や不満については投書BOXを設置している。投函しづらい方は、石狩市役所の担当者まで連絡出来るように、投書BOXに名前を明記している。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	それぞれの御家族様に二ヶ月に一度のホーム便りを送っている。また、来訪の折や電話で利用者様の日常の様子を伝えたり、御本人様の欲しがる物を買ったりしている。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ホームの玄関に苦情箱を設置している。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営に関する職員の意見や提案を聞き、改善させている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者様と職員が三人に一人で維持出来るように勤務ローテーションを組んでおり、欠員や補充が必要な場合は直ちに相談、対応している。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動する事はあるが、時々利用者様に顔を見せて、安心して頂いている。	○	職員が交代時には職員は三階に住んでいると利用者様に話して、安心して頂いている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>個々のレベルに応じた研修を受けさせている。看護師と共に職員に感染予防等の実技講習を行ったり、消防署から救急救命の実技講習を行っている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>運営者は、地域の同業者とあまり交流がないが、管理者・職員は地域で開催される研修会等に参加している。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>職場での食事会の参加を何度も募っても、ほとんどの職員が参加しなかったため、食事会は中止となってしまった。</p>	○	新しく職員が増えたので今後交流会を再開使用と計画している。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>運営者は、全てを把握している。運営者は職員が利用者様の介護支援の時間を多くするために、調理・清掃・その他に気をつけている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>御本人様が話しやすい雰囲気作りを心掛けており、話しを良く聴く機会を設け、受け止めている。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>双方、納得がゆくまで話し合い、御家族様の話を良く聴く機会を設けている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御家族様と御本人とよく話し合い、御本人にどういう介護が必要なのか判断している。他のサービスも利用したいという要望があれば、他のサービスも含めて利用して頂いている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	御本人様の状況に合わせながら、無理なく馴染めるようにスタッフが話し掛けたり、ついていったりして、徐々に馴染めるように御家族様とも、相談している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	御本人様が出来ることは、出来るだけ見守りながら行ってもらう。御本人様から教えてもらった事は、褒めたり大きめに喜んであげる。室内・室外での行事を一緒に楽しんでいる。	○	御本人様が出来ることは見守りながら、行ってもらう。御本人様から教えてもらった事は共に喜怒哀楽を分かち合う。室内・室外での行事・レクレーションでは感情豊かに喜び合っている。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	地域運営推進委員会では、屈託のない貴重な意見を述べられる関係を築いている。	○	御家族様が来訪の際、ホーム内での日常の様子や体調、最近楽しかった事等説明して安心してもらい、また不安・希望等を聞いている。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	年に二回程、御家族様をお食事会に招待し、利用者様・御家族様・職員同士のよりよい関係を築いている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	御家族様と自宅に遊びに行ったり、ホームの周辺を散歩したり、馴染みのスーパーへ職員と買い物に行ったりしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	1F・2Fの利用者様は、トランプ・ぬりえ・食事会・散歩等で交流を深め、職員が会話の仲立ちをしたりして孤立せずに、関わり合えるように努めている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	御本人様・御家族様にも、いつまでも話し合いをもって空気があれば、いつでも入所出来るようになっている。御家族様が介護に協力的理解を持っている。また、運営推進会議がホームでの行事などにも参加されたり、遊びに来て下さる等、交流を深めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話や、個別の関わり、行事やレクリエーションの中からも利用者様の思いや希望の把握に努めている。	○	一人一人の利用者様と、じっくり話しをする機会を設け、利用者様のさやかな思いや希望を支援していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御本人様の生活史等を把握するシートを作成し、把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人一人の一日の過ごし方、心身状態の変化等を個別に記録し、現状の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画では、御家族様の意見を聞き、御利用者様の状態変化・現状・主治医の所見等をスタッフ・看護師等でミーティングを開き、検討しあいケアプランに反映している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	身体機能、状態の変化が見られた場合は、介護支援専門員は看護師・指定専門医師と相談の上、適切な管理のもとに、御本人・御家族と話し合い、随時見直しを行っている。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の介護や介護計画に反映させる為、一人一人の日々の様子や変化を個別記録に記入。朝・昼・夕の申し送りも行い、情報を共有している。	○	毎日の時間の異なる表情、行動、言動、夜間等、個別記録に記入して情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	御本人や御家族の状況は、ホームのみのことではなく、その時々々の要望に応じて支援をしている。	○	利用者様の御家族様が具合悪くなられ車を用意し、病院へと支援しています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	必要な利用者様には、地域後見人を利用している。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	御本人様の希望によって、デイケアサービスの体制を築けるようになっている。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて相談をしたり、推進会議等で協働している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	スタッフが健康管理をしていて、何かあった時に施設長や看護師・医師等に相談している。介護支援専門員から家族に報告している。	○	入居前から、かかりつけ医がある場合には希望を大切にしています。定期的に診察し、身体の変化が見られた時は、病院を紹介して下さっています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	担当医による二週間に一回の訪問診療を行っている。状況に応じて専門医を紹介してもらって、治療を受けるようにしている。	○	訪問鍼灸も行ってます。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師を確保している。日常の健康管理や相談を受けながら医療活用の支援を行っている。	○	看護師は支援だけでなく、病気の説明を受けたりと1ヶ月に1回検討会を行っている。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療機関とは、早期退院に向けての話し合いを行っているが、御本人様が改善するまでは医療支援を受けるようにしている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入所時の段階から話し合いを勧めているが、重度化した場合や終末期には新たにどのようにするか相談をし、方針を決めている。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	担当医や看護師と今後病状の変化について説明を受け、どのような支援を行うかを決定している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49	<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	別の居宅へ移り住む際には、情報提供書等を作成し情報を提供している。	○	利用者さまの御家族が訪問し、宿泊を希望される場合は寝具も用意してあります。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	利用者様の誇りやプライバシーを損ねる職員には、退職もありうる。という姿勢で利用者様一人一人を尊重した、さりげない介護が行われている。また、記録等、個人情報の取り扱いには十分な配慮を行っている。	○	利用者様には言葉使いに気をつけて心を込めて接します。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	職員は利用者様それぞれの趣味や個性に合わせて、何をしたいのか見極めて説明したり、自分で決定されたり、柔らかくして本人が納得出来るような生活を支えている。		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	ある程度の決まりはあるものの、一日の流れを利用者様の行動に合わせて支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	身だしなみは、常時気をつけています。二ヶ月に一度の訪問美容があり、利用者様一人一人の希望に合わせた支援を行っている。	○	いつも身ざれいにしてもらい季節に応じた服装を入居者様と話し合って決めてもらう。
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	一週間のメニューを見やすい場所に掲示している。食事は、出来る限り味とカロリー計算をし、味を楽しんで頂いている。	○	利用者様が食欲がない・食べたくない時はお粥やおにぎり、好物等を工夫している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	健康や食事の妨げにならないように、また体重の増加に気をつけて一人一人のその時の状況に合わせて、支援をしている。当ホームは禁煙なので煙草は吸っていない。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄の時間を記録し、一人一人の排泄のパターンを把握する事により、時間ごとにトイレ誘導を行っており、失禁の改善に結びついている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週四回の入浴の機会を設けており曜日や時間帯など一人一人の希望に応じた入浴支援に努め、必要に応じて足浴・シャワー浴などをおこなっている。	○	入浴日以外にも入浴希望があれば入浴支援をしていきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人一人のその時々状況に応じて室外音や室温に配慮しながら、安心して安眠や休息が出来るように職員が常に見守りを行っている。	○	身体を温める事によって、痒みを訴える利用者様には患部を冷やすことにより安眠の支援を行っている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人一人の生活歴や力を活かし、食器洗い、縫い物、編み物、洗濯物干し、洗濯物たたみ、家庭菜園等、その方の楽しみ事の支援をしている。	○	筋力トレーニングや外食等、気晴らしや楽しみのある暮らしに取り組んでいる。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自分で金銭管理が出来る利用者様には、一人一人の希望や力に応じて、買い物や金銭の管理を支援している。	○	金銭の管理に不安のある利用者様にも、職員が協力して買い物を手伝う支援をしていける方法を考えていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	身体に問題がない限り、希望にそって近辺を散歩に出掛けている。その時の状況によりドライブ等をして工夫している。	○	一人一人の希望にそって、戸外に出掛ける機会をもう少し増やして、気分転換が出来るように支援をしたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	御家族様同伴の食事会・お花見・公園での昼食会に出掛けたり、ドライブを楽しみながら海を見に行く等、普段行けない所への外出支援をしている。	○	気候が安定した時には、海へドライブに行く等、企画したイベント以外にも、普段行けない場所への外出を支援している。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御本人様の希望があれば、いつでも本人自ら電話をする事が出来る。御自身で電話番号を押せない時には、職員が代わりに押してあげる支援をしている。またハガキが来た時に読めない方には代わりに読んであげる等の支援をしている。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	来訪された時には気持ちよく出迎えており、お茶・コーヒー等の接待もしているが、自由に飲めるようにポットを設置している。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	運営者の方針に基づき、当ホームは身体拘束は一切行ってない。また身体拘束についてのプリントを職員に配付し、ホーム内にも掲示している。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており日中は居室・玄関の施錠はしていない。各ユニットの入り口には、鈴を設置したり居室の入り口にセンサーを設置する事で、開閉が分かる工夫をして、外出した場合には職員が付き添うようにしている。	○	今後も鍵をかけないケアを実践していきたい。利用者様が外出した場合には職員が付き添うようにして自由な暮らしを支援していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	プライバシーに配慮しながら常に目配り・気配りをしながら、所在や様子を把握している。夜間五回の巡視を実施し、昼夜をとおして安全に配慮している。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人一人の状態に応じて危険と判断した場合には、協力して頂ける御家族様には協力して頂き、危険防止に取り組んでいる。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	職員は看護師と共に全体会議の時に勉強会を開き、一人一人の状態に応じた事故防止に努め、嚙下運動や転倒防止の為の筋力体操に取り組んでいる。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	急変や事故発生時の対応マニュアルをいつでも目に見える場所に置いてある。消防署職員による救急救命士実施訓練を行っている。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的に避難訓練を実施し、消防署から指導を受けている。災害時には消防署や職員に自動通報がいくように火災通報装置が設けられている。また運営推進会議で協力要請の働きかけから、災害発生時には近隣施設との協力・連携体制が出来ている。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	入居前に御家族様に説明して、納得をしてもらうように努めている。入居後も御家族様同席で、ケアカンファレンスを行い、対応策を話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	月二回の訪問診療と当ホームの看護師により、早期発見に努め職員も速やかに情報を共有し対応に結び付けている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	看護師から職員は病状と薬の説明を受け服薬の支援・病状の確認に努めながら、看護師に様子や状態を報告している。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	当ホームの訪問医・看護師に報告し、便秘の人には便秘薬を調整している。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後には義歯を外し、口腔ケアの支援をし、イソジンでうがいをしている。義歯は週二回の消毒を行っている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人ひとり栄養バランス重視し、食事量・水分量が正確に分かりやすいように書き出してから、グラフに記録している。水分量も必要な量はほぼ確保できている。	○	一人ひとりの状態を見極めその人に合うように、刻みをつけたりトロミをつけたりしている。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防一式を各場所に設置している。マニュアルを作り、職員の実施訓練も行っている。インフルエンザ・新型インフルエンザの予防接種も受けている。外出時はマスク着用、帰ったときはイソジンでのうがい・手洗いは必ず行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食中毒の予防にまな板・食器乾燥機等は夕食後消毒し冷蔵庫は月一回消毒し汚れている際には常に掃除と消毒をして衛生を保持している。食材は毎日業者から届き、新鮮な食材を使っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関前には、プランターに花を植え正面玄関には、スロープがあり玄関には季節事の四季を取り入れた花を飾り、家庭的な雰囲気づくりの工夫をしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有空間では日差しはカーテンを利用し、音楽を流すときも音量が不快にならないよう、注意している。浴室は使用後の掃除・消毒・月一度の換気扇の掃除をし、トイレは毎日掃除をし、汚れたらその都度掃除をし、綺麗な状態で使用出来るように努めている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間には気のあった利用者様同士で過ごせる共有スペースがあり、テラスにもソファを置き気のあった利用者様と職員が交流できる場所がある。	○	利用者様同士、楽しく過ごせるようにオセロゲーム等を用意し共有してもらい他にも楽しめる事など職員で話し合いをしていきたい。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には馴染みの家具や・仏壇・テレビなどが持ち込まれ、自分の好みの配置にしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気は強制自動の換気であり、気になる臭いや空気のおどみなどは、常時清潔にし臭いの発生を止めている。また入居者様の室内には、入り口と部屋の中心部に温度計を設置し温度管理をしている。	○	常時、温度計を確認し、部屋の温度調節に努めていく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	木造づくりで柔らかい、弾力性のある作りになっている。主な所には手摺りなどがあり廊下も広く障害になる物は置かず、生活しやすいよう工夫している。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	一人ひとりが理解・興味のある範囲内で自分の出来ることを見守り、自分で生活が出来るよう支援している。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	外周には花や植物を植え、共有スペースには運動器具を設置している。	○	以前使用している人はいたが、今はほとんど使用されていない為、声掛けし職員と一緒にやっていたらと思う。

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない ①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない ③
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない ③

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">①</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 利用者様の楽しみや、健康の為に当ホームでは色々な行事を計画し、楽しんで頂ける工夫をしている。利用者様の潜在意識や活性化を図るべきと考えております。利用者様のケアに、職員全員が同じ目標を持ち、同じ言葉で接するように取り組んでいる。